

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(1)-ウ	ひとり親家庭等の困難を抱える保護者への支援	施策	①ひとり親家庭等の困難を抱える保護者への生活自立支援
			施策の小項目名	○ひとり親家庭の自立に向けた支援
主な取組	公営住宅への優先入居		対応する成果指標	ひとり親の年間就労収入
施策の方向	・ひとり親家庭等の生活の安定と自立した生活に向けて、保育や医療に係る経済的負担の軽減や住宅支援等の生活支援に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
ひとり親家庭等が公営住宅に優先入居できるよう取り組む。	県	ひとり親家庭等に対する優先入居の支援			
		県営住宅への優先入居制度の運用			
		制度の運用	制度の運用	制度の運用	
担当部課【連絡先】	土木建築部住宅課		【 098-866-2418 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	—			予算事業名	—	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
—	—			主な財源	実施方法	当初予算額
—	—			—	—	
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
<p>県営住宅の空家待ち募集において、ひとり親家庭等を含む子どもを扶養する住宅困窮世帯が、一般世帯より優先して入居できるような制度運営に努めた。</p>				<p>県営住宅の空家待ち募集において、ひとり親家庭等を含む子どもを扶養する住宅困窮世帯が、一般世帯より優先して入居できるような制度運営に努める。</p>		

活動指標名	県営住宅への優先入居制度の運用		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		<p>県営住宅の空家待ち募集において、ひとり親家庭等を含む子どもを扶養する住宅困窮世帯が、一般世帯より優先して入居できるような制度運営に努めた。</p>
		制度の運用	制度の運用	制度の運用	制度の運用	100.0%	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

ひとり親家庭等を含んだ子どもを扶養する住宅困窮世帯が、一般世帯より優先して入居できるような制度運用に努めたことに加え、外部機関と連携し適切な情報提供や支援案内を図っており、取り組みは順調であると判断できる。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
<p>生活・住宅困窮世帯からの公営住宅の入居等の問い合わせに対応するため、専門相談員等を通じた市町村福祉課等関係機関との連携・適切な案内を実施し、さらなる相談体制の強化を検討する。</p>	<p>指定管理者に配置した専門相談員を通じ、市町村福祉部門や自立相談支援機関等の外部機関との連携を図りつつ、住宅困窮世帯への支援に努めた。</p>

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	支援が必要な世帯の増加が見込まれるので、県営住宅の建替事業の実施により供給可能な住戸を増やす必要がある。	① 執行体制の改善	供給可能な住戸数を増やすことができるよう、県営住宅の計画的な建替に取り組む。
② 他の実施主体の状況 (内部要因)	高齢者や障害者、子育て家庭等の住宅確保要配慮者についても、住居確保の相談先が必要である。	② 連携の強化・改善	高齢者や障害者、子育て家庭等の住宅確保要配慮者の相談先となる各市町村の居住支援協議会の設立に向けた関係機関との勉強会等を実施する。